

平成 29 年度 自己評価

評価項目 1 教育課程・指導

(1) 方針 1

園生活を通して、好奇心や探求心をふくらませ、発見する喜びを知り、発想や表現の豊かさを身につけ、他者を認め尊ぶ大きな心を育む。

対応及び反省

日々の保育や行事への取り組みにおいて、事前、またその過程に十分な話し合いをし、教員の情報共有を徹底する。また、活動後、多角的に評価を行い、反省点を改善すべく努める。更に、教員として、常にスキルを高める努力を怠らない。

評価；A

(2) 方針 2

表現教育を実践する中で、子ども自身で気づき、感じ、目的意識を持ち、達成のための努力と周囲への協力を惜しまない、責任感を伴った能動的な心を育む。

対応及び反省

日々の保育や行事への取り組みにおいて、子ども一人一人の心身の発達の状態を見極め、適切な指導をするよう、教員の情報共有を徹底する。さらに、状況に柔軟に対応し、最善の方策を常に模索し実現に向け努力する。

評価；A

(3) 方針 3

保護者と連携して情報を共有し、協議する関係を確立し、子どもの成長のために最善の方策を追求する。

対応及び反省

例会や役員会、個人面談等において、共通の理解や認識を持つべく、説明、意見交換等の協議を行い、様々な機会を十分活用することを目指す。

評価；A

評価項目 2 安全・保育管理

(4) つばみ幼稚園学校安全計画の遂行

対応及び反省

必ずしも計画予定通りの遂行とはならなかったものの、計画の実行にあたっては結果的に準拠したものと理解する。夏季休業中に救急救命講習に参加したことにより、教員のスキルアップにつながった。時事の情報把握力等については、引き続き、レベルアップを目指す。なお、本年は行わなかったものの、保護者を対象にした消火訓練は、年間計画に加えたい。

評価 ; A

評価項目 3 組織運営

(5) 職員体制

対応及び反省

正規教員とパート教員との密接な連携により対応し、経験の質と個人のモチベーションとのバランスがとれていた。教員の産休に当たり、代替、分担などフォローができた。

評価 ; A

(6) 研修

対応及び反省

長期休業や保育のない時間帯を利用し研修会に参加することで、教員のスキルアップにつながった。教員免許更新時に伴う研修について、日程、シフトの調整の面で当該者に配慮した。夏季休業中など、積極的に活用したい。

評価 ; A

評価項目 4 保護者、地域住民との連携

(7) 保護者との連携

対応及び反省

在園、卒園児家庭との連携は良好と思われる。例会、個人面談、役員会を活用し、引き続き保護者との連携をより強固にすることを旨とする。

子育て支援において、未就園児家庭との関わりに力を入れ入園につながる等、一定の成果を得た。引き続き課題としたい。

評価；B

(8) 地域住民との連携

対応及び反省

地域住民との連携に関して、運動会前の公園使用時等の協力を得ることができ、隣接した町会との関係は前進している。一般の地域の住民との連携については希薄であり、関係の構築方法について引き続き模索すべきである。

評価；B

評価項目 5 子育て支援

(9) 幼稚園型預かり保育

対応及び反省

今年度、11時間開所、及び定額利用の制度を導入し、長時間預かりの体制をスタートさせた。フルタイムなど長時間就労する母親が少ないこともあって、定額利用者は少ないが、この後の需要に対応する素地を確立した。一時預かりの利用が大半であるが、保護者会等では、ほぼ全員が利用している。

早朝の預かりも導入し、数は少ないものの、必要な時に様々な家庭が利用している。

評価；A

(10) 一般型預かり保育

対応及び反省

昨年、一般型として事業体系を整えたが、幼稚園型の範疇を出ないとのことで、認定

に至らなかった経緯を経てもなお、非在園児の預かり保育の利用は、在園児弟妹等、縁故関係者に限られ少数ながら需要はあるため、引き続き実施した。

評価；A

(11) 未就園児（二歳児）クラス、ひよこ組

対応及び反省

ひよこぐみから入園するか否かをさておき、保育の質を確保しつつ大事に考えていきたい。

評価；B

(12) 未就園児家庭に対する取り組み

「せんせいとあそぼ！」「園庭開放、プール開放」「幼稚園体験会」「ひよこ組体験会」

対応及び反省

二歳児の発達、次期就園家庭の子育て支援を考慮し、来年度も現状での開催を考えている。

「せんせいとあそぼ！」は参加希望者少数ではあったが、開催した。

評価；A

評価項目 6 環境設備

(13) 各保育室の床及びテラスの整備

対応及び反省

夏季休業中に床の研磨及び塗装、テラス（デッキ部分）の張り替え及び塗装の作業を行った。見た目も美しいが、絵の具の使用が多い本園に於いて、取り組み後の後始末まで指導を徹底させたいという目的にも一役を担い、効果的であった。

評価；A

*空調設備について

本年度には実現できなかったが、空調設備の老朽化に伴い、省エネの観点からも、改良工事を行いたい。また、雨天時に有効なオーニング（収納可能な庇）の設置も検討したい。

評価項目 7 情報提供

(14) 個人情報

対応及び反省

1号認定の申請書類、教員税務申告等にマイナンバーが必要である。その他の個人情報についても、引き続き情報漏洩防止に細心の注意を払い対応する。

評価；A

(15) 幼稚園に関する様々な情報

対応及び反省

引き続き、関係者において情報を公開し、幼稚園運営における透明性の維持を図る。

評価；A